

川根本町 図書室だより

5月
2024年5月号

- ・文化会館図書室(小長井)
 - ・山村開発センター図書室(上長尾)
 - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間:午前9時~午後5時
- ☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(19日)・祝日の翌日(7日)
- ☆ やまびこ号巡回コースは



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

新 着 図 書

『認知症ではなく「うつ」だと知るための50のこと』

長谷川洋 著 徳間書店

認知症?それともうつ病?

文



認知症研究の第一人者長谷川和夫先生(故人)の長男であり、ご本人も医師として活躍する長谷川洋氏。

長谷川洋医師が臨床を通じて培ってきた認知症との見分け方のポイントや、認知症とは違う高齢者の「うつ」への対処法、また予防法などを分かりやすく紹介。臨床における数多くの知見をもとに「50の知識」として分かりやすくまとめるシニア向けメンタルヘルスの決定版。

『眠っている間に体の中で何が起きているのか』

西多昌規 著 草思社

眠る時間は人生のムダな時間ではない

山



ちゃんと寝るだけで、なぜホルモンバランスが整い、免疫力は上がり、脳が冴え、筋肉がつき、見た目も若返るのか。日本の睡眠研究の第一人者である著者が、脳をはじめ、心臓や肺、胃腸、骨や筋肉、皮膚などが、睡眠中にどのような状態になっているのか、また睡眠不足によってどのようなダメージを受けるのかについて、世界中のさまざまな研究をひもときながら検証します。

『なぜか人生がうまくいく「優しい人」の科学』

和田秀樹 著 クロスメディア・パブリッシング

人に優しくできれば、人生が回り始める

文

最近、世の中がギスギスしていると感じませんか?そんな組織やチーム、家族、そしてあなたに明るい未来はおとずれるでしょうか。

大切なのは「やさしい」気持ち。情けは人の為ならず、といいますが、まわりがいい影響を与える人が結局はうまくいくのです。でも、自分のことを冷たい人間だと思っている人が、やさしい気持ちを持てるようになるでしょうか。心に余裕を持つ方法を、精神科医の和田秀樹氏が解説します。



『静かに退職する若者たち』

金間大介 著 PHP研究所

部下との1on1の前に知っておいてほしいこと

山

バブル世代、就職氷河期世代、ゆとり世代、さとり世代、Z世代……。育ってきた時代や環境が違えば、考え方や価値観は当然違う。そして、すれ違う。そうした「世代間ギャップ」「コミュニケーション・ギャップ」をどう埋めるのか?若者が何も言わずに辞めていく。なぜ、うまくいかないのか?今の職場の若者はいったい何を考えているのか?



◎ 新着図書



川根本町
インターネット
図書室
ホームページ



図書日より
バックナンバー

「川根本町インターネット図書室」では新刊の詳しい情報や蔵書の検索が可能です。

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
<p>●『方舟を燃やす』 角田光代 著 新潮社 恐怖の大王は来なかった。噂はぜんぶデマだった。一方で大災害が町を破壊し、疫病が流行し、今も戦争が起き続けている。何でもいから何かを信じないと、今日をやり過ごすことが出来ないよ……。 「信じる」ことの意味を問う長篇小説。</p>	<p>●『君を守ろうとする猫の話』 夏川草介 著 小学館 幸崎ナナミは喘息の持病があるため、中学校が終わるとひとりで図書館に足を運ぶ生活を送っている。その図書館で、最近本がなくなっているらしい。館内の探索を始めたナナミは、青白く輝いている書棚の前で、翡翠色の目をした猫と出会う。</p>
<p>●『ようこそ、ヒュナム洞書店へ』 ファンボルク 著 集英社 ソウル市内の住宅街にできた「ヒュナム洞書店」。会社を辞めたヨンジュは、追いつめられたかのようにその店を立ち上げた。新米店主と店に集う人々の本とささやかな毎日を描く。</p>	<p>●『夜明けの花園』 恩田陸 著 講談社 湿原に浮かぶ檻、と密やかに呼ばれる全寮制の学園。ここでは特殊な事情を抱える生徒が、しばしば行方を晦ます。校長の悲しき回想、幼き日の理瀬、黎二と麗子の秘密、そして水野理瀬の現在。理瀬と理瀬を取り巻く人物たちによる、幻想的な世界へ誘う六編。</p>
<p>●『東京都同情塔』 九段理江 著 新潮社 寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所「シンパシータワーキーヨー」が建てられることに…。建築家・牧名は、仕事と信条の乖離に苦悩しながら、パワフルに未来を追求する。生成AI時代の預言の書。第170回芥川賞受賞作！</p>	<p>●『暗殺』 赤川次郎 著 新潮社 声なき目撃者と刑事が暴く、邪悪な政治家の罪と罰。大学受験の朝、駅で射殺事件を目撃しながら通報を怠った麻紀。やがて親友の恋人として再び姿を現した犯人は職業的殺人者だった—。一方、事件を追う刑事のことみは、大臣の特殊な性癖と周囲の不審な事件を知り…。</p>
<p>●『殺める女神の島』 秋吉理香子 著 KADOKAWA 孤島に集められた7人のミスコン最終候補者。以後2週間、互いを高め合いながら最終審査の準備を行う。だが主催者が瀕死で見つかり、やがて次々と殺人者が。参加者の嘘も明らかになっていき…。</p>	<p>●『人生に期待するな』 北野武 著 扶桑社 「常識を疑う」ことの大切さ、他人に迷惑をかけるかもしれないという想像力の大切さ、お笑い芸人に常識が必要な理由、神という存在の意味…。大変化の時代を生きる全ての悩める現代人に捧げる、たけしによる福音書。</p>
<p>●『おまえうまそうだな さよならウマソウ』 宮西達也 作 ポプラ社 「おまえうまそうだな」の20年後のふたりを描く、せつない再会の物語。</p> 	<p>●『あかちゃんごたどリエほん ぶっぶーがおー』 かしわらあきお 作 主婦の友社 ぶっぶーと、車が線の上を走ります。どこまで行くのかな？ あかちゃんの手を添えて、ことばの音を楽しみながら、いっしょに線をたどりましょう。</p> 



『このあと どうしちやおう』 ヨシタケシンスケ 著 ブロンズ新社

主人公は、最近おじいちゃんが亡くなってしまった男の子。ある日、おじいちゃんの部屋で「このあと どうしちやおう」と書かれたノートを発見します。

そのノートには、うまれかわつたらなりたいもの、天国ってきっとこんなところ、みんなにつかってほしい記念品など、将来死んだらどうなりたいか、どうしてほしいかが書かれていて、このノートに書かれていたことを読んでいくうちに思わず笑ってしまい、おもしろおかしくユーモアたっぷり夢中になってしまいました。

いろいろなことを想像したり、発想の転換など気づかされる、すばらしい絵本です。

山村開発センター図書室 所蔵
文化会館図書室 所蔵

図書室スタッフk